

## 平成 31 年度行方市消防団役員をお知らせします

### 【本部】

団長 邊田和夫  
 副団長兼麻生支団長 藤崎仙一郎  
 副団長兼北浦支団長 森崎正暁  
 副団長兼玉造支団長 阿部浩幸

### 【麻生支団】

副支団長 伊藤栄司  
 第1分団長 小沼弘道 同副分団長 諏訪雅俊  
 第2分団長 前嶋俊之 同副分団長 大原 哲  
 第3分団長 宮内洋治 同副分団長 栢葉雅洋  
 第4分団長 大輪文夫 同副分団長 本田竜一  
 第5分団長 額賀勇八 同副分団長 大貫 明

### 【北浦支団】

副支団長 真家孝之  
 第1分団長 岡里 亮 同副分団長 伊藤徹也  
 第2分団長 岡崎一夫 同副分団長 前田正宏  
 第3分団長 浅野悦朗 同副分団長 宮内 洋  
 第4分団長 久米雅文 同副分団長 河野秀夫

### 【玉造支団】

副支団長 小沼精一  
 第1分団長 埴 一彦 同副分団長 荒木田守  
 第2分団長 岡里栄一 同副分団長 磯山裕之  
 第3分団長 埴 昭浩 同副分団長 瀧崎健太郎  
 第4分団長 風間 亨 同副分団長 小松崎伸  
 第5分団長 羽生幹男 同副分団長 岡田祐樹



## 「情報発信日本一のまちづくり」を目指して

### 市長トップセールスによるシティプロモーション活動報告

4月12日（金）、なめがたファーマーズヴィレッジにおいて、シティプロモーション自治体等連絡協議会主催の「第10回会員間相互交流自治体視察会」が開催されました。

この視察会は、協議会会員である地方自治体と民間団体を対象に、先進的自治体の取り組み事例等を紹介するなど、官民連携を図って地域づくりに生かすことを目的に開催されているものです。

本市は「情報発信日本一のまちづくり」と題し、民間企業と連携した広報紙デジタル化、多言語通訳サービス、官民協働地域ポータルサイトのほか、防災対応型エリア放送「なめがたエリアテレビ」を活用した市民協働による情報発信の取り組みについて紹介しました。講演後は、なめがたファーマーズヴィレッジ、観光物産館こいこい、なめがたエリアテレビスタジオの見学など、市内施設の視察会を行いました。

「情報発信で日本一プロジェクト」を掲げる本市は、シティプロモーション指針に沿ったさまざまな手法により、これからも積極的な情報発信とシティプロモーション活動に取り組んでいきます。



## 行方の恵みを味わいました！



### 「なめがた湖<sup>かわ</sup>と大地の春まつり 2019」

4月28日（日）、霞ヶ浦ふれあいランドにおいて開催されました。

行方市特産品PRブースや、水産物や農産物の生産者直売会、6次産業化のチャレンジショップなどが出展されました。鯉のあら汁・鯉のポタポタ焼きの試食配布やサツマイモの詰め放題には、多くの人で賑わい、湖と大地の恵みを感じていました。

### 「なめがた肉フェス」

平成最後となる4月29日（月）と30日（火）、霞ヶ浦ふれあいランド周辺において開催されました。

会場内では、美明豚や行方米豚、常陸牛などを使用した肉料理が販売され、ケバブや、串焼き、なめがたバーガーなどには長蛇の列ができ、多くの人で賑わいました。

## 山車<sup>ひ</sup>曳きで、新天皇の即位と新しい時代「令和」をお祝い

### 新天皇御即位記念山車曳き



5月3日（金・祝）、麻生公民館駐車場において、新天皇の即位を祝う山車曳きが行われました。山車は、毎年10月に行われている大麻神社例大祭で曳かれるものです。

昼間に5台の山車がそろうのは、市制施行10周年の平成27年以来4年ぶりのこと。参加者たちは、おはやしに合わせ一斉手踊りをして、お祝いの気持ちを表しました。

写真提供：行方市民の方、なめがた日和

## 初めての田植えを体験

玉造小 5 学年の児童



5月16日(木)、玉造小5学年の児童93人が、手賀地内の水田で田植えを体験しました。

玉造南部土地改良区(村松建一理事長)と手賀・資源を守る会(村松建一会長)の指導の下、約15アールの水田に、クラスごとに苗を植えていきました。

普段、泥に触れる経験が少ない子どもたちにとって、泥の感触や水田の生き物など、この体験は新鮮な様子でした。

玉造南部土地改良区の高塚裕二次長は「初めて田植えをしたという子どもたちが多かったが、とてもよくできたと思います。最初は嫌がっていた子も、最後はワイワイ楽しんでいたので、みんなにとって良い経験となったことでしょう」と話していました。

秋にはまた全員で稲刈りを行い、収穫した米は、家庭科の調理実習授業でいただく予定です。

## いきいき茨城ゆめ国体に向けた 北関東地域ゲートボール予選会



8月31日(土)～9月1日(日)に本市で行われるいきいき茨城ゆめ国体ゲートボール大会の代表権を獲得するための北関東地域ゲートボール予選会が、3月30日(土)、北浦運動場において開催されました。

例年、北関東(群馬・埼玉・栃木・茨城)の4県が参加して国体の代表権を争いますが、地元開催の本県は自動的に国体に参加できるので、今回の予選会には参加しません。そのため、本県を除く3県(各県男女別3チームの計18チーム)で代表権を争いました。

その結果、男子代表が埼玉県に、女子代表が栃木県に決定しました。

 <p>第74回国民体育大会 平成31年9月28日(土) ▶ 10月8日(火)</p> <h3>いきいき茨城ゆめ国体 2019</h3> <p>翔べ 羽ばたけ</p> <p>公開競技「ゲートボール」 2019年8月31日(土)～9月1日(日) 北浦運動場第1グラウンド 開催まであと91日(2019年6月1日)</p>	 <p>第19回全国障害者スポーツ大会 平成31年10月12日(土) ▶ 10月14日(月)</p> <h3>いきいき茨城ゆめ大会 2019</h3> <p>そして未来へ</p> <p>デモンストレーションスポーツ「ビーチハンドボール」 2019年8月25日(日) 天王崎公園砂浜特設コート 開催まであと85日(2019年6月1日)</p>
--	---